

令和5年度

事業報告書

社会福祉法人 人吉市社会福祉協議会

目 次

I 総括	1
II 理事会・評議員会等	2
1 理事会	2
2 評議員会	3
3 評議員会選任・解任委員会	3
4 監査	3
III 専門部会活動	4
1 企画財政部会	4
2 地域福祉部会	4
3 児童福祉部会	4
4 調査広報部会	5
IV 校区社協活動	7
1 各校区の実績	7
2 小地域ネットワーク	12
3 ミニサロン	12
4 給食ボランティア事業	12
V 地域福祉事業の推進	13
1 安心生活応援団・命のバトン	13
2 買い物支援事業	13
3 ふれあいサービス	13
4 ファミリーサポートセンター	14
5 暮らし見守り相談員事業	14
6 生活支援体制整備事業	15
7 人吉球磨成年後見センター	18
8 地域福祉権利擁護事業	24
9 生活困窮者自立相談支援事業	25
10 生活福祉資金貸付	25
11 小口福祉資金貸付	26
12 社会福祉のつどい	26
13 地域支え合いセンター	27

VI	ボランティア活動及び福祉教育の推進	31
1	児童・生徒を対象にした「福祉教育」の推進	31
2	ボランティアセンター登録状況	31
3	災害救援ボランティア養成事業	32
4	球磨ブロック社協災害ボランティアセンター設置訓練	32
VII	在宅福祉サービス事業	33
1	デイサロン事業	33
2	地域包括支援センター	33
3	居宅介護支援事業	35
4	訪問介護事業	35
5	障害者総合支援法関係事業	35
VIII	共同募金	36
1	赤い羽根共同募金	36
2	歳末たすけあい運動	37
IX	その他の事業	38
1	人吉市総合福祉センター利用状況	38
2	介護用機器の貸出	38
3	善意銀行	38
4	各種団体の事務局	39
X	資料	39
1	会費の実績	39
2	寄附・香典返し	39
3	団体等の受入	39
4	実習生の受入	39

I 総括

今年度は、市社協が策定した第3次地域福祉活動5ヵ年計画の4年度目にあたり、「お互いさまの心で支え合うまち人吉」の基本理念の下、「地域福祉の基盤づくり」「孤立させないまちづくり」「安全・安心なまちづくり」の3つの基本目標を掲げ、人吉市が策定した地域福祉計画と一体的に運用しているところです。

事業の推進にあたっては、高齢者の一層の高齢化や生産年齢人口の減少による過疎化、豪雨災害からの復興など、地域の姿や福祉の基盤が変化するなかにあつて、従来の福祉の枠組みでは対応が困難な住民の生活課題に対し、町内会長、校区社協、民生委員・児童委員、くらし見守り相談員、ボランティア団体、シニアクラブ、福祉施設など、地域の福祉関係者との連携に基づく支援を図ってまいりました。

本市においては、令和2年7月豪雨災害から3年以上が経過し、仮設住宅の公営住宅化や災害公営住宅の完成、入居が始まり、少しずつではありますが、住まいの再建が進んでおり、市から受託している「地域支え合いセンター」の支援終了世帯も90%を超えた状況です。しかしながら、他の浸水地域や中心市街地では、まちづくりや災害公営住宅の建設などの復旧復興や、地域コミュニティの再興は、まだ道半ばの状況です。

また、本年1月1日に発生した能登半島地震や相次ぐ地震、豪雨災害を目の当たりにし、改めて自治体や他地域の社会福祉協議会、民生委員・児童委員、各種団体などとの密接な連携と災害ボランティアの重要性を認識しました。

令和元年12月から感染が拡大した新型コロナウイルス感染症は、完全に終息したわけではありませんが、沈静化の兆しから、令和5年5月に感染症法の取り扱いが5類に移行したことにより、従来の地域活動、社会活動が行われるようになりました。そのような状況から、本社会福祉協議会でも4年ぶりに「歳末たすけあい演芸会」や「社会福祉のつどい」を開催することができました。

今後も、豪雨災害被災者自立ための支援と第3次地域福祉活動の仕上げに向けた地域活動や事業実施を推進します。

Ⅱ 理事会・評議員会等

1 理事会

開催日	出席者	会議の内容
令和5年6月12日	10名	<ul style="list-style-type: none"> ①令和4年度社会福祉法人人吉市社会福祉協議会事業報告について ②令和4年度社会福祉法人人吉市社会福祉協議会収支決算監査報告 ③令和5年度社会福祉法人人吉市社会福祉協議会第1次補正予算案について ④社会福祉法人人吉市社会福祉協議会事業所嘱託職員就業規則の一部改正について ⑤人吉市社会福祉協議会評議員候補者の推薦について ⑥社会福祉法人人吉市社会福祉協議会評議員選任・解任委員会委員の選任について ⑦令和5年度第1回評議員会の開催について 報告 令和4年度人吉市善意銀行事業報告について
令和5年6月29日	10名	<ul style="list-style-type: none"> ①会長の選任について ②副会長の選任について ③常務理事の選任について ④評議員候補者の選任について ⑤評議員選任・解任委員会の開催について 報告 評議員選任・解任委員会の審議結果について
令和5年12月14日	11名	<ul style="list-style-type: none"> ①会長及び常務理事の職務執行状況の報告について ②令和5年度社会福祉法人人吉市社会福祉協議会第2次補正予算案について ③社会福祉法人人吉市社会福祉協議会事務局職員給与・退職手当規程の一部改正について ④社会福祉法人人吉市社会福祉協議会事務局嘱託職員就業規則の一部改正について ⑤評議員会の開催について 報告第1号 令和5年度社会福祉法人人吉市社会福祉協議会第1次流用予算について
令和6年3月14日	9名	<ul style="list-style-type: none"> ①令和5年度社会福祉法人人吉市社会福祉協議会第3次補正予算案について ②令和6年度社会福祉法人人吉市社会福祉協議会事業計画案について ③令和6年度社会福祉法人人吉市社会福祉協議会当初予算案について ④社会福祉法人人吉市社会福祉協議会事務局嘱託職員就業規則の一部改正について ⑤役員等賠償補償保険契約の承認について ⑥社会福祉法人人吉市社会福祉協議会苦情解決第三者委員の選任について ⑦人吉市総合福祉センター1階事務室空調設備改修工事に係る入札の方法について ⑧人吉市総合福祉センター1階事務室空調設備改修工事指名競争入札の参加業者について ⑨評議員会の開催について ⑩第3次人吉市地域福祉活動計画の進捗及び評価について ⑪公正証書遺言による受贈財産の譲渡について

2 評議員会

開催日	出席者	会議の内容
令和5年 6月27日	17名	①令和4年度社会福祉法人人吉市社会福祉協議会事業報告について ②令和4年度社会福祉法人人吉市社会福祉協議会収支決算監査報告 ③令和5年度社会福祉法人人吉市社会福祉協議会第1次補正予算案について ④社会福祉法人人吉市社会福祉協議会事業所職員就業規則の一部改正について ⑤理事の選任について ⑥監事の選任について 報告 令和3年度人吉市善意銀行事業報告について
令和5年12月26日	16名	①令和5年度社会福祉法人人吉市社会福祉協議会第2次補正予算案について ②社会福祉法人人吉市社会福祉協議会事務局給与・退職手当規程の一部改正について ③社会福祉法人人吉市社会福祉協議会事業所嘱託職員就業規則の一部改正について
令和6年3月27日	15名	①令和5年度社会福祉法人人吉市社会福祉協議会第3次補正予算案について ②令和6年度社会福祉法人人吉市社会福祉協議会事業計画案について ③令和6年度社会福祉法人人吉市社会福祉協議会当初予算案について ④社会福祉法人人吉市社会福祉協議会事務局嘱託職員就業規則の一部改正について ⑤第3次人吉市地域福祉活動計画の進捗及び評価について ⑥公正証書遺言による受贈財産の譲渡について

3 評議員選任・解任委員会

開催日	出席者	会議の内容
令和5年6月13日	4名	人吉市社会福祉協議会評議員の選任について
令和5年7月 7日	5名	人吉市社会福祉協議会評議員の選任について

4 監査

開催日	出席者	会議の内容
令和5年 5月27日	2名	令和4年度 業務執行状況並びに経理状況について
令和5年11月27日	2名	令和5年度 上半期業務執行状況並びに経理状況について

Ⅲ 専門部会活動

1 企画財政部会

開催日	出席者	会議の内容
令和5年6月7日	7名	①令和4年度人吉市社会福祉協議会事業報告 ②令和4年度人吉市社会福祉協議会決算報告 ③令和4年度人吉市善意銀行事業報告について ④令和5年度人吉市社会福祉協議会第1次補正予算案について ⑤歳末たすけあい演芸会について ⑥各部会からの連絡事項
令和5年6月30日	8名	①部会長の選任 ②副部会長の選任 ③歳末たすけあい演芸会について ④各部会からの連絡事項
令和6年3月11日 (書面審議)	9名	①令和5年度人吉市社会福祉協議会第3次補正予算案について ③令和6年度人吉市社会福祉協議会事業計画案について ④令和6年度人吉市社会福祉協議会当初予算案について ⑥各部会からの連絡事項

2 地域福祉部会

人吉市バリアフリーマップの更新を行うため、更新方法や調査範囲等について協議し、各校区に分かれ調査をしました。人吉市が試験的に実施した「ためまっぷ人吉」に順次掲載しました。

開催日	出席者	会議及び行事の内容
令和5年6月14日	10名	第1回地域福祉部会 委嘱状交付と今年度の活動について
令和5年9月13日	10名	第2回地域福祉部会 バリアフリーマップの作成につて、調査班分け、第1回目調査について
令和5年9月14日	2名	hassenba調査
令和5年9月19日	2名	瓦屋公園調査
令和5年10月11日	3名	温泉町みんなの家調査
令和5年10月6日	2名	第1回三役会
令和5年11月20日	2名	宝来町みんなの家調査

3 児童福祉部会

昨年まで中止となっていたボランティアスクールは、7月31日と8月4日に開催することが出来ました。「夏のボランティア体験行事報告書」を作成し、各学校、参加者、ゲストティーチャーや講師の方に配布しました。

開催日	出席者	会議及び行事の内容
令和5年4月7日	3名	第1回児童福祉部会三役会 ①事業報告、事業計画について ②夏のボランティア体験行事について
令和5年5月15日	2名	第2回児童福祉部会三役会 ①ボランティアスクールについて

令和5年5月18日	9名	第1回児童福祉部会 ①令和4年度事業報告 ②令和5年度事業計画について ③ボランティアスクールについて
令和5年6月7日	2名	第3回児童福祉部会三役会 ①ボランティアスクールについて ②委嘱状交付式及び役員について
令和5年6月12日	15名	委嘱状交付式及び第2回児童福祉部会 ①委嘱状交付、役員選任 ②ボランティアスクールについて
令和5年7月13日	14名	第3回児童福祉部会 ①ボランティアスクール担当決め
令和5年7月21日	3名	第4回児童福祉部会三役会 ①ボランティアスクールの準備について
令和5年7月31日	9名	ボランティアスクール（東・東間・大畑小学校 計19名）
令和5年8月4日	8名	ボランティアスクール（西・西瀬・中原小学校 計19名）
令和5年8月31日	3名	第5回児童福祉部会三役会 ①ボランティア体験行事について（報告） ②感想文について
令和5年9月15日	11名	第4回児童福祉部会 ①ボランティアスクールの振り返り ②夏のボランティア体験行事報告書について
令和5年9月25日	3名	第6回児童福祉部会三役会 ①夏のボランティア体験行事報告書について
令和5年11月20日	3名	第7回児童福祉部会三役会 ①夏のボランティア体験行事報告書について

4 調査広報部会

社協だよりは、タイムリーな福祉情報を届けるため隔月（年6回・8ページ）に発行し、社協が行っている事業やサービスの案内、様々な地域活動の取り組みを紹介しました。

開催日	出席者	会議及び行事の内容
令和5年4月6日	3名	217号2校
令和5年4月13日	3名	217号3校
令和5年6月1日	9名	218号初校
令和5年6月7日	2名	さくらの会意見交換会
令和5年6月8日	3名	218号2校
令和5年6月15日	9名	委嘱状交付及び218号3校
令和5年7月27日	7名	219号初校
令和5年8月3日	3名	219号2校
令和5年8月10日	3名	219号3校
令和5年10月5日	7名	220号初校
令和5年10月13日	3名	220号2校

令和5年10月19日	3名	220号3校
令和5年11月29日	8名	221号初校
令和5年12月7日	2名	221号2校
令和5年12月13日	3名	221号3校
令和6年2月1日	8名	222号初校
令和6年2月7日	2名	222号2校
令和6年2月13日	3名	222号3校

IV 校区社協活動

1 各校区の実績

各校区社協では、少子・高齢化、一人暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯が増加する中、校区内の町内会長、民生委員児童委員、くらし見守り相談員などの関係者が連携して、小地域ネットワーク活動、ミニサロン、老人給食ボランティア、子ども食堂等を実施する他、生活支援体制整備事業の取り組みも地域の特色を活かして事業を進められています。

①東校区

行事名	主な内容
校区社協総会	5月21日（土） R4年度事業報告・決算報告、R5年度事業計画・予算審議等
役員会等	
監査 4月7日（金）	・会計監査
4月17日（月）	・総会資料審議
5月8日（火）	・総会資料確認
5月15日（月）	・総会資料製本及び総会打ち合わせ
6月19日（月）	・総会の反省、三者会議
8月21日（月）	・校区社協だより検討
9月19日（火）	・校区社協だより編集、研修会検討
10月16日（月）	・校区社協だより編集、研修会検討
11月20日（月）	・研修会準備
12月18日（月）	・研修会反省、生活支援事業の現状確認
1月15日（月）	・生活支援事業要項及び申込書確認
2月19日（月）	・社協だより編集、三者会議について
3月18日（月）	・社協だより、監査、総会について
ネットワーク推進会議 （町内単位で開催）	南寺町（2回）、七日町（2回）、五日町（1回）、紺屋町（1回） 上新町（1回）、下新町（2回）、北願成寺町（2回）、南願成寺町（2回） 南泉田町（2回）、鬼木町（2回）
ミニサロン （町内単位で開催）	上新町（2回）、北願成寺町（2回）、南願成寺町（1回）、新町（1回） 鬼木町（2回）、七日町（1回）
校区社協だより発行（2回）	R5年11月1日、R6年3月31日

②西校区

行事名	主な内容
校区社協総会	5月15日（月） R4年度事業報告・決算報告、R5年度事業計画・予算審議等
役員会等	
監査 4月28日（金）	・会計監査
ネットワーク推進会議 （町内会単位で開催）	駒井田町（2回）、井ノ口町（2回）、鶴田町（1回）、中青井町（2回） 下青井町（2回）、瓦屋町（2回）、城本町（2回）、合ノ原町（1回） 上青井町（1回）
ミニサロン （町内単位で開催）	下青井町（2回）、瓦屋町（1回）、中青井町（2回）、城本町（2回） 駒井田町（1回）、上青井町（1回）、井ノ口町（2回）、鶴田町（2回） 合ノ原町（1回）
ノルディックウォーク	講習会 11月16日（木）
地域ふれあい事業	合ノ原町：地域サロン（よけまん会） 井ノ口町：地域サロン（かたらん会）、八幡さん清掃 瓦屋町：縁がわサロン（かたらんね～、ころぼん体操） 城本町：誕生日祝い 駒井田町：サロン会議他 上青井町：地藏尊掃除他 中青井町：サロン会議他 下青井町：誕生会等記録用カメラ購入 鶴田町：スタッキングチェア購入

子育て支援事業 (ニコニシ食堂) ※コロナ禍により 弁当配布とする	ニコニシ支え合いセンターを改修し、センターにて調理しています。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 4月22日(土) スタッフ14名、弁当120食配布 ・ 5月27日(土) スタッフ14名、弁当120食配布 ・ 6月24日(土) スタッフ15名、弁当120食配布 ・ 7月22日(土) スタッフ14名、弁当120食配布 ・ 8月26日(土) スタッフ16名、弁当120食配布 ・ 9月23日(土) スタッフ15名、弁当120食配布 ・ 10月28日(土) スタッフ14名、弁当120食配布 ・ 11月25日(土) スタッフ12名、弁当120食配布 ・ 12月23日(土) スタッフ16名、弁当120食配布 ・ 1月27日(土) スタッフ16名、弁当120食配布 ・ 2月24日(土) スタッフ14名、弁当120食配布 ・ 3月23日(土) スタッフ14名、弁当120食配布
校区社協だより発行	R6年3月1日

③東間校区

行事名	主な内容
校区社協総会	5月27日(土) 議案審議・採決
役員会等	<ul style="list-style-type: none"> 4月19日(水) ・市社協第1回役員会・同定例会 4月19日(水) ・執行部打ち合わせ会議(年間計画検討) 5月13日(土) ・校区社協役員会 6月12日(月) ・執行部打ち合わせ会議(事務引継ぎ) 6月20日(火) ・市社協第2回役員会・同定例会 6月23日(金) ・執行部打ち合わせ会議(事業推進) 10月9日(月) ・おくんち街頭募金 11月22日(水) ・市社協第3回役員会・同定例会 11月22日(水) ・執行部打ち合わせ会議(事業検討) 12月3日(日) ・歳末たすけあい演芸会 2月19日(月) ・執行部打ち合わせ会議(事業進捗検討) 2月22日(木) ・社会福祉の集い 3月13日(水) ・市社協第4回役員会・同定例会 3月13日(水) ・執行部打ち合わせ会議(事業実績打合せ)
ネットワーク推進会議 (町内会単位で開催)	西間下町(1回)、西間上町(1回)、藪野町(2回)、赤池原町(1回) 東間下町(1回)、蟹作町(1回)、東間上町(2回)、浪床町(2回) 古仏頂町(2回)、大塚町(1回)、桑木津留町(1回)、赤池外園町(1回) 赤池水無町(1回)、
ミニサロン	東間上町(2回)、東間下町(1回)、田野町(1回) 西間上町(1回)、赤池外園町(1回)、藪野町(2回)
老人給食ボランティア	<ul style="list-style-type: none"> 4月3日(月) 対象者数67名、ボランティア数14名 18日(火) 対象者数74名、ボランティア数14名 5月1日(月) 対象者数75名、ボランティア数13名 15日(月) 対象者数71名、ボランティア数15名 6月5日(月) 対象者数73名、ボランティア数13名 19日(月) 対象者数75名、ボランティア数13名 9月4日(月) 対象者数75名、ボランティア数14名 19日(月) 対象者数77名、ボランティア数16名 10月2日(月) 対象者数77名、ボランティア数14名 16日(月) 対象者数59名、ボランティア数17名 11月6日(月) 対象者数75名、ボランティア数15名 20日(月) 対象者数70名、ボランティア数13名 12月4日(月) 対象者数68名、ボランティア数12名 18日(月) 対象者数74名、ボランティア数14名 1月15日(月) 対象者数86名、ボランティア数15名 1月22日(月) 給食ボランティア交歓会20名 2月5日(月) 対象者数72名、ボランティア数15名 19日(月) 対象者数75名、ボランティア数16名 3月4日(月) 対象者数65名、ボランティア数12名 18日(月) 対象者数78名、ボランティア数17名 <p style="text-align: right;">実施回数計19回、対象者計1,114名、ボランティア計272名</p>

子育て支援事業 2月 5日 (月)	新生児お祝い金 7町内23名
子ども育成事業 1月3日 (水) 3月3日 (日)	・ 田野町 (どんどや) ・ 東間上町 (グランドゴルフ)
校区社協だより発行	なし

④大畑校区

行事名	主な内容
校区社協総会	5月21日 (日) R4年度事業報告・決算報告、R5年度事業計画・予算審議等
役員会等 監査 4月15日 (土) 5月21日 (日) 6月24日 (土) 10月29日 (土) 9月23日 (土) 1月27日 (土) 2月24日 (土) 3月16日 (土) 4月20日 (土)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会計監査 ・ 行事予定の確認 ・ ミニサロンについて町内へ役員の割り振り ・ 校区社協活動の進捗状況確認、11月以降の活動計画について ・ 校区社協活動計画の見直し ・ 校区社協活動計画についてこれまでの取り組み状況確認 ・ 理事会の開催について確認 ・ 理事会の中止を決定 ・ 総会の議題、内容等について確認
ネットワーク推進会議 (町内会単位で開催)	上・下田代町 (2回)、大畑町 (2回)、大野町 (2回)、大畑麓町・小川内 (2回) 上・下・東漆田町 (2回)、矢岳町 (2回)
ミニサロン (町内会単位で開催)	上・下田代町 (2回)、矢岳町 (2回)、下・東漆田町 (2回)、大畑町 (2回) 大野町 (2回)、上漆田町 (2回)、大畑麓町 (2回)
校区社協だより発行 (2回)	8月1日 (月)・2月1日 (水)

⑤西瀬校区

行事名	主な内容
校区社協総会	5月28日 (日) 議案審議・採決
役員会等 令和5年4月15日 (土) 監査 4月17日 (月) 4月19日 (水) 5月19日 (金) 5月26日 (金) 6月19日 (月) 7月19日 (水) 8月21日 (月) 8月30日 (水) 9月 1日 (金) 9月11日 (月) 9月12日 (火) 9月20日 (水) 10月20日 (金) 12月20日 (水) 12月20日 (水) 令和6年1月11日 (木) 1月22日 (月) 2月 2日 (金) 2月20日 (火) 2月21日 (水) 2月26日 (月) 2月26日 (月) 2月26日 (月) 3月20日 (水)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 役員会 総会開催協議 ・ 会計監査 ・ 市社協協議 生活支援事業推進協議 ・ 校区町内会長会 校区社協総会案内・校区社協事業説明等 ・ 役員会 総会議案印刷・製本等 ・ 役員会 各種提出書類整理 ・ 校区町内会長会 校区社協書類配布等 ・ 校区町内会長会 小地域福祉ネット会議・ミニサロン開催依頼 ・ 役員会 生活支援事業推進協議 ・ 校区民児協協議 生活支援事業推進協議 ・ 市社協協議 生活支援事業推進協議 ・ 生活支援意見交換会 校区民生児童委員会・暮らし見守り相談員会 ・ 校区町内会長会 支え合いにしぜの会代表選出 ・ 校区町内会長会 小地域福祉ネット会議・ミニサロン開催依頼 ・ 市社協協議 校区社協先進地研修協議 ・ 校区町内会長会 校区社協事業状況報告等 ・ 第1回校区社協だより編集委員会 ・ 校区町内会長会 校区社協事業状況報告等 ・ 第2回校区社協だより編集委員会 ・ 校区町内会長会 各種事業報告・新年度計画書提出依頼 ・ 市社協協議 生活支援事業推進協議 ・ にしぜの会定例会 第1回全員協議会 ・ 西瀬校区役員選考委員会設置 ・ 第3回校区社協だより編集委員会 ・ 校区町内会長会 校区社協便り(48号)各戸配布依頼

ネットワーク推進会議 (町内会単位で開催)	下戸越町(2回)、下薩摩瀬町(2回)、下城本町(2回)、上薩摩瀬町(2回)、永野町(2回)、上戸越町(2回)、相良町(2回)
ミニサロン (町内会単位で開催)	上戸越町(2回)、永野町(1回)、下戸越町(1回)、上薩摩瀬町(1回)、下城本町(1回)、下薩摩瀬町(1回)、
校区社協だより発行(1回)	3月20日(水)

⑥中原校区

行事名	主な内容
校区社協総会	5月13日(土) R4年度事業実績報告・決算監査報告、R5年度事業計画・予算審議等
役員会等 監査	<ul style="list-style-type: none"> 4月 4日(火) ・会計監査 4月11日(火) ・評議員会(総会について) 4月14日(金) ・第1回支え合い部会 5月12日(金) ・第2回支え合い部会 5月21日(日) ・生活支援体制整備事業(支え合い部会) おでかけ茶話会(瑠峨里) 6月 9日(金) ・第3回支え合い部会 6月 9日(金) ・第1回役員会(福祉まつりについて) 6月10日(土) ・新町内会長との研修(小地域ネットワーク会議について 他) 6月24日(土) ・生活支援体制整備事業(支え合い部会) おでかけ茶話会(荒毛) 7月 7日(金) ・評議員会(福祉まつりについて) 7月12日(水) ・老人給食ボランティア意見交換会(老人給食について) 7月14日(金) ・第4回支え合い部会 7月14日(金) ・第2回役員会(福祉まつりについて) 7月23日(日) ・生活支援体制整備事業(支え合い部会) おでかけ茶話会(西門) 8月18日(金) ・第5回支え合い部会 9月 8日(金) ・第6回支え合い部会 9月 8日(金) ・第3回役員会(福祉まつりについて) 9月10日(日) ・生活支援体制整備事業(支え合い部会) おでかけ茶話会(羽田) 10月13日(金) ・第7回支え合い部会 10月13日(金) ・第4回役員会(福祉まつりについて) 10月29日(日) ・生活支援体制整備事業(支え合い部会) おでかけ茶話会(馬場) 11月10日(金) ・第8回支え合い部会 11月12日(日) ・世代間交流 前村 11月26日(日) ・世代間交流 中林 12月 8日(金) ・第9回支え合い部会 1月18日(木) ・第10回支え合い部会 1月28日(日) ・生活支援体制整備事業(支え合い部会) おでかけ茶話会(段) 1月31日(水) ・第5回役員会(社協だより編集) 2月 9日(金) ・第11回支え合い部会 2月 9日(金) ・第6回役員会(総会について、社協だより編集) 2月19日(月) ・第7回役員会(社協だより編集) 2月25日(日) ・生活支援体制整備事業(支え合い部会) おでかけ茶話会(下林) 2月27日(火) ・第8回役員会(社協だより編集) 3月 8日(金) ・第12回支え合い部会 3月 8日(金) ・第9回役員会(総会資料について) 3月14日(木) ・社協だより編集会議 3月31日(日) ・生活支援体制整備事業(支え合い部会) おでかけ茶話会(温泉町)
ネットワーク推進会議 (町内単位で開催)	上林1区(1回)、上林2区(2回)、中林町(1回)、下林町前村(2回)、下林町2区(2回)、下林町仮屋(2回)、温泉町(1回)、中神町段(1回)、中神町城本(2回)、中神町大柿(2回)、中神町小柿(2回)、下原田荒毛(2回)、下原田町嵯峨里(2回)、下原田町堀(2回)、下原田町瓜生田(2回)、下原田町西門(2回)、上原田町上原(1回)、上原田町尾崎(1回)、上原田町菖蒲(2回)、上原田町尾曲(1回)
ミニサロン (町内会単位で開催)	上林町1区(1回)、上林町2区(1回)、下林町仮屋(1回)、温泉町(2回)、中神町小柿(2回)、下原田町荒毛(2回)、下原田町瓜生田(2回)、上原田町上原(1回)、上原田町尾崎(1回)、上原田町菖蒲(1回)

老人給食ボランティア	4月12日（水） 対象者数59名、ボランティア数14名 5月10日（水） 対象者数57名、ボランティア数13名 5月24日（水） 対象者数58名、ボランティア数12名 6月14日（水） 対象者数59名、ボランティア数10名 9月13日（水） 対象者数61名、ボランティア数14名 10月11日（水） 対象者数62名、ボランティア数16名 11月 8日（水） 対象者数57名、ボランティア数14名 11月22日（水） 対象者数59名、ボランティア数16名 12月13日（水） 対象者数60名、ボランティア数14名 1月10日（水） 対象者数62名、ボランティア数17名 2月14日（水） 対象者数63名、ボランティア数16名 3月13日（水） 対象者数64名、ボランティア数14名 実施回数計12回、対象者計721名、ボランティア計170名
福祉まつり	7月29日（土） 第1回実行委員会 8月26日（土） 第2回実行委員会 9月30日（土） 第3回実行委員会 10月28日（土） 第4回実行委員会 11月12日（日） 福祉まつり 12月 9日（土） 第5回実行委員会
子ども食堂	第1日曜 7月～3月 9回実施
「支え合いセンターなかはら」だより 発行（月1回）	12回実施
校区社協だより（1回）	R6年4月1日 ※（5年度の内容）

⑦校区社協連絡協議会関係

行事名	主な内容
監査	4月7日（金）会計監査
役員会4回	4月19日（水） ・第1回役員会・事業報告、決算報告、監査報告 6月20日（火） ・第2回役員会・事業報告、決算報告、監査報告、事業計画、予算 ・社協長会議…助成金、負担金納入について、校区社協活動計画について 11月22日（水） ・第3回役員会・各校区取組状況報告、全体研修について 3月13日（水） ・第4回役員会・各校区社協から諸報告書提出について
定例会4回	4月19日（水） ・第1回定例会・事業報告・決算、監査報告 6月23日（金） ・第2回定例会事業報告、決算報告、監査報告、事業計画、予算 11月22日（水） ・第3回定例会進捗状況報告、第1回全体研修 3月13日（水） ・第4回定例会進捗状況報告、第2回全体研修、事業計画（案）
協力行事	10月9日（月） おくunch祭り街頭募金 12月3日（日） 歳末たすけあい演芸会 2月22日（木） 社会福祉のつどい

2 小地域ネットワーク

各町内ごとに下記のネットワーク（見守り）対象者の方々が、住み慣れた地域で安心して暮らすことができるように、見守りの支え合い活動を行いました。

R6年3月末現在（単位：人）

ネットワーク数	人口・割合				65歳以上		ネットワーク対象者
	男	女	合計	割合	人口	割合	
東校区	3,569	4,180	7,749	26.0%	2,697	34.8%	223
西校区	2,250	2,736	4,986	16.7%	2,046	41.0%	136
東間校区	2,616	2,915	5,531	18.5%	2,074	37.5%	174
大畑校区	672	756	1,428	4.8%	679	47.5%	99
西瀬校区	2,034	2,272	4,306	14.4%	1,734	40.3%	135
中原校区	2,726	3,118	5,844	19.6%	2,225	38.1%	140
合計	13,867	15,977	29,844	-	11,455	38.4%	907

ネットワーク対象者は原則として、下記の中から特に見守りが必要な人とされる方です。

- 1 75歳以上の一人暮らし高齢者
- 2 高齢者のみ世帯（元気な場合概ね80歳以上、病気がちな場合75歳以上）
- 3 寝たきり高齢者
- 4 認知症及び認知症状がみられる人
- 5 昼間一人暮らし高齢者（概ね80歳以上）
- 6 障がい者等
- 7 町内の推進会議で見守りが必要と認められた人

3 ミニサロン

ネットワーク対象者と援助者との交流の場として、町内単位で実施しました。

	人口 人	ネットワーク 対象者 人	ミニサロンの 回数 回	出席者数 人	1回平均 出席者数 人
東校区	7,749	223	9	215	24
西校区	4,986	136	16	470	29
東間校区	5,531	174	8	145	18
大畑校区	1,428	99	11	242	22
西瀬校区	4,306	135	7	199	28
中原校区	5,844	140	14	195	14
合計	29,844	907	65	1,466	23

4 給食ボランティア事業

75歳以上のひとり暮らしの高齢者で食事の準備に苦勞されている方や、重度の身体障害者の方等を対象に、訪問給食サービスを実施しました。配食を希望される方々からは大変評判もよく、毎回楽しみに待っておられます。また、地域のボランティアの方々の活躍の場ともなっています。

		4月	5月	6月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
東間校区	回数	2	2	2	2	2	2	2	1	2	2	19
	対象者数	141	146	148	152	136	145	142	86	147	143	1,386
	VO数	28	28	26	30	31	28	26	15	31	29	272
中原校区	回数	1	2	1	1	1	2	1	1	1	1	12
	対象者数	59	115	59	61	62	116	60	62	63	64	721
	VO数	14	25	10	14	16	30	14	17	16	14	170
合計	回数	3	4	3	3	3	4	3	2	3	3	31
	対象者数	200	261	207	213	198	261	202	148	210	207	2,107
	VO数	42	53	36	44	47	58	40	32	47	43	442

V 地域福祉事業の推進

1 安心生活応援団・命のバトン

① 安心生活応援団

地域住民が安心して暮らせるように、各事業所に協力いただき地域の方への声かけや、異変の発見など日常業務の範囲内で行っていただきました。今年度の報告件数は1件でした。

また、応援団事業所の従業員向けに発行している「はっぴー通信」を通し、見守り活動に役立つ社会資源等の情報発信・啓発に努めました。

令和6年3月末現在の登録事業所数 139 件

② 命のバトン事業

命のバトンは、高齢者や障がい者などの安全・安心を確保するため、必要な情報を記載し、その情報書等を専用の容器に入れて冷蔵庫に保管することで万一の救急時に備えるものです。

現在の登録者数は、次のとおりです。

校 区	東	西	東間	大畑	西瀬	中原
登録者数 (人)	475	382	330	209	349	490
合 計 (人)	2,235					

2 買い物支援事業

近くに商店がない、交通手段がないなどの理由で買い物に困っている方を対象に商品をお届けするサービスです。宅配だけを目的とせず、訪問時の声かけ・安否確認や困りごとの解消も行っています。

地域包括支援センター、成年後見センター等の関係部署との連携により、利用者の情報共有やサービス利用について連携が図れました。特にサービス利用については、必要性がある方へ迅速に利用方法などを説明できました。

宅配サービス

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
登録者数	160	160	160	165	165	163	164	165	160	157	160	161	
利用者数	51	50	51	53	53	50	50	48	55	48	51	54	
宅配回数	161	156	177	172	163	156	170	153	166	144	149	159	1,926 回
見守り訪問	93	15	11	77	22	6	81	7	81	11	12	54	470 回

【ちょっとしたお困りごとの件数と内容】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件 数	11	14	21	12	12	14	15	18	17	13	17	13	177
内 容	保冷剤の交換、テーブル周りの片付け、ペットボトルの蓋あけ、電話機の電池交換、ソファの移動、賞味期限の確認、昼食の配膳、郵便物の投函、ふすまの取り付け、食器の片付け、健診問診票の記入、ゴミ捨て、米櫃の米を入れる、商品の開封、購入容器の洗浄、電話機操作代行、CDプレイヤーの操作説明、服薬チェック、水分補給の準備、タクシーの手配、湿布を貼る、蛍光灯の交換、												

3 ふれあいサービス

地域住民参加型の在宅福祉有償サービスである「ふれあいサービス事業」は介護保険など公的サービスの補完的な役割を担っており、令和5年度利用会員は2名、協力会員は1名でした。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	延べ合計
サービス時間	8	5	6	5	7	4	4	5	4	4	7	6	65
回 数	8	5	6	5	7	4	4	5	4	4	7	6	65
実利用者数	2	2	2	1	2	1	1	2	1	1	2	2	19
実協力者数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
サービス内容	家事	家事	家事	家事	家事	家事	家事	家事	家事	家事	家事	家事	家事

4 ファミリーサポートセンター

令和6年3月31日現在の会員数は依頼会員73名、協力会員30名、両方会員2名、合計105名です。
 昨年度と同様、主に送迎の依頼が多くあり、中でも習い事への送迎が増えました。その他、依頼会員宅で入浴中の子どもの見守りなども行いました。預かりに関して困難事例もあり、関係機関と連携しながら対応にあたっています。

○令和5年度活動実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数(件)	23	20	17	16	13	33	28	10	8	6	9	7	190
平日(回)	19	20	17	15	13	31	27	10	6	6	9	6	179
土・日・祝日(回)	4	0	0	1	0	2	1	0	2	0	0	1	11
延べ時間(時間:分)	25:9	12:3	12:47	13:39	10:42	36:5	33:52	9:59	14:11	4:29	7:20	8:57	189:58
依頼会員数(実人数)	6	4	4	5	5	6	5	4	3	1	1	3	11
協力会員数(実人数)	5	3	3	4	4	6	5	3	4	2	2	4	8

○交流会

実施日	内容	参加者
2/3(土)	恵方巻とロールケーキ作り・茶話会	29

(託児スタッフ2名、職員4名含む)

○養成講座

人吉市認定保育サポーター養成講座(人吉球磨陽だまりの会)と合同で実施し、4名が新規登録されました。

実施日	内容	参加者
6/26(月)10時~16時	・オリエンテーション ・地域で支える子育て ・救急救命講習(人吉下球磨消防組合)	10
7/3(月)10時~16時	・ほ乳と食事、子どもの心と身体の発達 ・地域の子育て応援団としてスタートするために	6
7/10(月)10時~15時30分	・つながりを育むコミュニケーション ・子どもの発達と遊び	6

5 暮らし見守り相談員事業

令和6年3月31日現在、89名(定員91名)の方が委嘱を受け、様々な事情で見守りを必要としている方々を、住み慣れた地域で安心して生活を送ることができるよう見守り訪問活動をされています。
 全体研修会では、ゲートキーパー養成研修を受講しました。各支部で総会や研修も実施しました。

①見守り活動件数

校区/月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
東校区	257	303	270	244	239	284	270	245	251	252	254	244	3,113
西校区	156	165	143	146	134	136	142	138	245	137	138	149	1,829
東間校区	153	171	165	183	170	187	152	165	165	153	167	165	1,996
大畑校区	139	149	143	124	124	136	121	138	116	144	111	124	1,569
西瀬校区	121	160	159	153	140	134	148	129	138	139	136	151	1,708
中原校区	130	165	157	139	118	326	193	197	191	186	166	200	2,168
合計	956	1,113	1,037	989	925	1,203	1,026	1,012	1,106	1,011	972	1,033	12,383

※ 1か月1人当りの平均活動件数:11.5件(前年11.3件)

6 生活支援体制整備事業

各校区ごとに独自の取り組みを進めています。校区コーディネーターと社協コーディネーターで地域資源の調査を行いました。次年度以降も調査を継続していきます。生活支援コーディネーター連携会議では、各校区の進捗状況を共有したり、地域資源の調査状況、移動支援に関する情報収集等、共通課題と校区ごとの課題について検討しました。

又、他市町村の取り組みや課題、行政との連携について生活支援コーディネーター研修を受講しました。

人吉球磨ブロックで独自に取り組んでいる「人吉球磨ブロック生活支援コーディネーター意見交換会」では、人吉球磨地域の生活福祉体制整備事業について意見交換をする場を設けました。

福祉の集いでは、中原校区の生活支援体制整備事業について紹介しました。

移動支援については、3月に行政（交通政策係）と協議をはじめ、乗り合いタクシーや、まめバスの利用状況を確認しました。今後は、定期的に交通政策係との情報共有の場を設け、課題の抽出や対応策について検討してきます。

東校区	東校区生活支援事業の、協力者と依頼者を募集しました。東校区民生委員児童委員協議会例会、東校区社協総会、各町内で行われる小地域ネットワーク推進会議、各町内のデイサロン等に生活支援コーディネーターが参加し、案内と協力をお願いをしました。市社協だよりや校区社協だよりにて周知も行いました。今後も引き続き周知啓発活動を行います。	
	又、中原校区社協長、なかはら支え合い部会、中原校区生活支援コーディネーターから「なかはら生活支援応援団」についての研修を受けました。	
	【互助委員会】	
	6月19日	実行委員会開催。協力会員、依頼会員の募集状況と周知方法の検討
	9月19日	実行委員会開催。協力会員、依頼会員の募集状況の確認と実施状況について
	11月25日	校区研修（なかはら生活支援応援団について）
西校区	定例会、コーラスサロン、ニコシカフェを毎月定期的で開催しています。7月30日には、支え合い部会、校区社協、女性部会の共催で防災食づくりの研修を開催しました。生活支援コーディネーターが任期満了に伴い12月1日付けで交代しています。支え合い部会にて、カフェ参加者の交通手段について課題があがり、検討が必要です。	
	【ニコシ支え合い部会】	
	4月6日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 校区社協、民児協などの活動状況報告 ・ 新たな取り組みについての協議 ・ 生活支援コーディネーター連携会議報告
	6月1日	
	7月6日	
	8月3日	
	9月7日	
	10月5日	
	11月2日	
	12月7日	
	1月4日	
	2月1日	
3月7日		
東間校区	生活支援コーディネーターが困りごとを把握する手段として、SNSの活用を検討し、案内をしました。	
	夏休みの期間を利用し、地域にお住まいの高齢者が、子どもたちに昔の遊びを教える教室を計画、実施しました。	
	ゴミ出しについての課題がありコーディネーターが町内会長や役員の方と会議を開くなど個別対応しました。	
田野、大塚での移動支援については別の方法を検討していく必要があります。		
8月20日	昔あそび体験	
2月19日	校区社協役員、コーディネーター協議	

大畑校区	生活支援コーディネーターの選任が課題となっています。		
西瀬校区	生活支援コーディネーターが、老人会や町内会長会、小地域ネットワーク推進会議に参加しました。又、校区社協役員や民生委員児童委員、くらし見守り相談員と意見交換を行い、地域の困りごとを聞き取りました。		
	4月11日	民生委員児童委員との意見交換会	
	9月1日	生活支援コーディネーター委嘱状交付(再任)	
	9月12日	生活支援についての意見交換会 ・民生委員児童委員、くらし見守り相談員、校区社協役員、生活支援コーディネーターで困りごとについての意見交換	
	1月22日	にしぜの会役員会 今後の方向性について協議、にしぜの会定例会準備	
	2月26日	にしぜの会定例会 小人数で開催できるサロンの立ち上げを提案。	
中原校区	<p>支え合い部会を定期開催し、応援団の活動状況の報告、おでかけ茶話会の計画及び反省をおこないました。</p> <p>「なかはら支え合いだより」を毎月発行し、お役立ち情報や支え合い部会からのお知らせを掲載しました。</p> <p>「なかはら生活支援応援団」は、毎月10名程利用されています。月1回や毎週など利用頻度は様々です。依頼内容は室内清掃、ゴミ出し、代読、草取りなどです。</p> <p>「おでかけ茶話会」は、7回開催しました。(体操、演芸、ゲームなど)</p> <p>2月に行われた福祉のつどいで実践報告を行いました。</p> <p>【支え合い部会】</p>		
	4月14日	<p>協議内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なかはら生活支援応援団の活動状況の報告 ・おでかけ茶話会の実施計画及び反省 ・支え合いセンターなかはらだよりの発行について 	
	5月12日		
	6月9日		
	7月14日		
	8月18日		
	9月8日		
	10月13日		
	11月10日		
	11月25日		東校区研修
	12月8日		協議内容
	1月18日	<ul style="list-style-type: none"> ・なかはら生活支援応援団の活動状況の報告 ・おでかけ茶話会の実施計画及び反省 ・支え合いセンターなかはらだよりの発行について 	
	2月9日		
	3月8日		

【生活支援コーディネーター連携会議】

第1回	4月21日	各校区活動報告、予定
第2回	5月29日	各校区活動報告、予定
第3回	6月26日	各校区活動報告、予定、地域資源の調査について
第4回	7月24日	各校区活動報告、困りごとの聞き取りについて
第5回	8月28日	各校区活動報告、校区の課題について、地域資源調査経過報告、研修案内
第6回	9月27日	各校区活動報告、地域資源調査経過報告
第7回	10月23日	社会資源調査経過報告及び課題について、移動手段について
第8回	11月27日	移動支援について(交通政策係より)、あさぎり町への研修について
第9回	12月25日	各校区移動支援について状況報告、社会資源調査状況報告、個人が抱える課題の対応について

第10回	1月29日	社会資源、移動支援についての調査状況報告
第11回	2月26日	各校区移動支援についての調査状況報告
第12回	3月22日	交通政策係との共有事項報告、今年度の進捗報告、次年度の取り組みについて

【その他】

研修	9月22日	講話「地域から始まる介護予防 地域で出来る！脳内活性化」
	11月17日	生活支援コーディネーターブロック別連絡会議（オンライン形式）
	12月21日	生活支援コーディネーター養成研修（基礎編・応用編）
	1月22日	あさぎり町生活支援体制整備事業研修
	2月8日	生活支援コーディネーターテーマ別研修 移動支援/買い物支援
	2月15日	生活支援コーディネーターテーマ別研修 担い手確保/企業との連携

7 人吉球磨成年後見センター

令和5年度は、中核機関・人吉球磨成年後見センターに職員1名が増員され、法人後見業務との兼務が解消されました。職員体制が整ったことで、地域連携ネットワーク・市民後見人フォローアップ合同研修、安心生活セミナーへの取り組みも強化され、年間12回の研修を実施しました。

研修会で相続や登記、自筆証書遺言に関する内容を取り上げたこともあり、無料法律相談会、親族後見相談会、臨時相談会での相談件数がいずれの会においても令和4年度の相談件数よりも増加しました。

○成年後見制度についての相談窓口、電話相談、訪問相談件数

来所	電話等	訪問	ケース会議	その他会議	研修会	計
356	2401	2845	24	17	20	5663

・暮らし安心法律相談会（上半期）

相談内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
成年後見制度	2	1	2	1			6
相続（遺言・財産等）	1	2	2	2	4	3	14
登記			1		1	1	3
債務整理							0
生活困窮・離婚問題・養子縁組等							0
労働問題							0
その他（住宅・宅地・境界・近隣関係、賃貸借トラブル、契約トラブル、過払請求等）		1		1		1	3
合計	3	4	5	4	5	5	26

・暮らし安心法律相談会（下半期）

相談内容	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	総計
成年後見制度	1		2	3			6	12
相続（遺言・財産等）	1	3	1	2	4	2	13	27
登記	2		1			1	4	7
債務整理	1					1	2	2
生活困窮・離婚問題・養子縁組等						1	1	1
労働問題							0	0
その他（住宅・宅地・境界・近隣関係、賃貸借トラブル、契約トラブル、過払請求等）		1	1				2	5
合計	5	4	5	5	4	5	28	54

・親族後見相談会（2か月に1回ごとの実施）

相談件数	4月	6月	8月	10月	12月	2月	合計
相談件数	1	5	4	1	3	2	16
合計	1	5	4	1	3	2	16

・出張相談（随時実施）

相談件数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
相談件数	1	2	0	0	2	0	5
合計	1	2	0	0	2	0	5

相談件数	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	年間合計
相談件数	1	1	1	0	0	2	5	
合計	1	1	1	0	0	2	5	10

○法人後見事業

・受任状況(令和6年3月31日時点)

類型	後見	保佐	補助	未成年後見	計
受任件数	72	15	3	1	91

・新規受任、終了等(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

類型	後見	保佐	補助	未成年後見	計
新規受任件数	15	4	2	0	21

終了	12
----	----

・市民後見人活動状況(令和5年4月～令和6年3月)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上半期	
実人数	14	15	15	15	16	16	9月末現在 活動可能者	16
活動回数	47	45	41	39	41	39	合計	252

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下半期	
実人数	16	15	13	13	14	13	3月末現在 活動可能者	15
活動回数	35	36	32	32	31	29	合計	195

年間合計	
3月末現在 活動可能者	15
合計	447

※成年後見審議会を計11回開催

(構成：弁護士、医師、司法書士、社会福祉士、行政、社協代表者等)

○ 市民後見人養成事業「Ⅰ講座基礎編」（17名申込、14名修了）

5月13日（土）人吉市総合福祉センター中会議室 8：10～16：40

1単位=60分

科目	内容	講師等	単位
開校式 オリエンテーション	成年後見人養成講座開講の趣旨 及びカリキュラムについての説明	成年後見センター	0.5
地域共生社会と 権利擁護	①地域福祉・権利擁護の理念 ②関係機関との連携	一般社団法人熊本県社会福 祉士会 紫藤千子	2
成年後見制度概論	①成年後見制度の基本的理念 ②制度の概要 ③法人後見と市民後見人	熊本県弁護士会 松村尚美	2
成年後見制度概論Ⅰ 法定後見制度	法定後見とは	公益社団法人成年後見セン ター・リーガルサポート熊 本支部 司法書士 宮本稔也	2
成年後見制度概論Ⅱ 任意後見制度	任意後見とは	天草公証役場 公証人 羽田豊光	2

5月14日（日）人吉市総合福祉センター中会議室 8：30～17：40

（1単位=60分）

科目	内容	講師等	単位
対人援助の基礎Ⅰ	認知症についての理解と支援	医療法人精翠会 人吉こころのホスピタル 精神科医長 興野康也	2
対人援助の基礎Ⅱ	精神障がいと知的障がいについての理 解と支援		2
後見人と身上監護（意 思決定支援の実際）	本人の意思を尊重した財産管理の方 法、夢を叶える生活設計	一般社団法人熊本県社会 福祉士会 田村 禎	2
市民後見・法人後見概 論	法人後見と市民後見人による実践報告	市民後見人の会会員 （法人後見支援員）	2

○ 市民後見人養成事業「Ⅱ講座実践編」（13名申込、10名修了）

5月20日（土）人吉市総合福祉センター中会議室 8：30～17：40

（1単位=60分）

科目	内容	講師等	単位
高齢者と障がい者の人 権	①基本的人権 ②自己決定と自己責任 ③人権侵害 ④意思決定支援	熊本県弁護士会 奥村高史	2
成年後見制度をめぐる 法律	①法律行為・契約 ②権利能力 ③意思能力 ④行為能力 ⑤代理 ⑥アメリカの後見制度		2
地域包括支援センター の役割	地域包括支援センターの取組と課題	上球磨地域包括支援 センター 社会福祉士 山浦隆宏・山富菜穂子	2
成年後見の実務Ⅰ	申立手続きについて	公益社団法人成年後見セン ター・リーガルサポート熊 本支部 司法書士 岩本健	2

科目	内容	講師等	単位
財産管理の基本と実務	財産管理についての基本的な考え方	公益社団法人成年後見センター・リーガルサポート熊本支部 司法書士 宮本稔也	2
民法の基礎	親族法、相続法、財産法	熊本県弁護士会 田上裕輝	2
関係制度・法律と地域の現状	成年後見制度を取りまく関係諸制度の基	一般社団法人 熊本県社会福祉士会 紫藤千子	2
成年後見の実務Ⅱ	演習①【支援計画】	公益社団法人成年後見センター・リーガルサポート熊本支部 司法書士 宮本稔也	2
閉講式	修了書交付、人材バンク登録についての説明	人吉球磨成年後見センター職員	

○ 熊本県市民後見人養成研修（専門編）（4名申込、4名修了）

11月8日（水）熊本県立劇場 10：00～16：00

11月16日（木）熊本県庁防災センター 9：30～17：00

12月1日（金）熊本県庁防災センター 9：30～17：00

12月12日（火）熊本県庁防災センター 9：30～16：00

○ 地域連携ネットワーク・市民後見人フォローアップ合同研修

開催日	時間	内容及び講師名	開催場所	参加人数
5月25日	14：30～ 15：30	【地域との連携】 住み慣れた地域で暮らす ～小地域ネットワーク活動～ 人吉市社会福祉協議会 生活支援 コーディネーター 高木主事	人吉市総合 福祉センター 中会議室	15
6月8日	14：30～ 15：30	【関係機関との連携】 在宅生活者の支援 人吉市包括支援センター 和田 主任ケアマネージャー、荒平主 任ケアマネージャー	人吉市役所会議室 301/302	20
7月13日	14：30～ 15：30	【精神の自由と尊厳】 子どもたちの笑顔のために～児 童養護施設の現場から考えるか かわりと優しさ 社会福祉法人光明童園 堀浄信理事長	人吉市役所会議室 301/302	36
7月24日	13：30～ 14：30	【安心生活セミナー】 にちぎん出前講座①日本銀行の役 割 日本銀行熊本支店 柳内 健吾 氏	中小企業大学校 人吉校	50
8月10日	14：00～ 15：30	【中核機関の委託と行政が保有す る個人情報の取り扱い】 成年後見制度におけるチームでの 支援と個人情報 人吉市役所 総務課職員	人吉市役所会議室 301/302	31

9月15日	14:00~ 15:30	【ケア・コミュニケーション】 認知症や障がいがある方へのア プローチ 株式会社Re学 川畑智代表取締役	人吉市役所会議室 201/202	51
9月22日	13:30~ 14:30	【安心生活セミナー】 にちぎん出前講座② 日本経済・熊本県経済について 日本銀行熊本支店 柳内 健吾 氏	あさぎり町 せきれい館	28
10月12日	14:00~ 15:30	【詐欺や悪徳商法から身を守る】 一人暮らしで気をつけること 人吉市役所コミュニティ課（人 吉市消費生活センター） 大原 伸司 氏	人吉市役所会議室 301/302	22
11月7日	10:00~ 11:00	【相続の基本と事例紹介からの 具体的対策方法】 みんなの相続 ジブラルタ生命 研修担当 今村誠氏	人吉市役所 会議室202	11
12月12日	10:00~ 12:00	【相続の基本と事例紹介からの 具体的対策方法】 みんなの相続 ジブラルタ生命 研修担当 今村誠氏	人吉市総合福祉 センター 中会議室	14
12月14日	10:00~ 11:00	【安心生活セミナー】 相続登記の申請の義務化、自筆 証書遺言の保管制度 熊本地方法務局人吉支局 河元 浩生支局長補佐	人吉市役所会議室 201/202	26
2月13日	11:00~ 12:00	【リタイアメントライフの収支 と将来のためのマネープラン】 マネープラン教室 ジブラルタ生命 研修担当 今村誠氏	人吉市総合福祉 センター 中会議室	14

○ 市町村地域包括支援センター等との連絡会・研修

開催日	時間	内容	開催場所	対象者
6月22日	14:00~ 15:30	認知症高齢者等の支援に関する 金融機関との連携	公立多良木病院	(人吉球磨圏域 地域包括支援セ ンター職員)

○ 制度説明・普及啓発等（講師として出席した場合等）

開催日	時間	内容	開催場所	対象者
6月1日	9:00~ 10:30	人吉球磨成年後見センターの取 組について 権利擁護事業と成年後見制度に ついて	ジブラルタ生命 人吉支店	ジブラルタ生命 社員
8月9日	13:00~ 14:00	人吉球磨成年後見センターの取 組について 権利擁護事業と成年後見制度に ついて	人吉市総合福祉セン ター第二会議室	鹿児島国際大学 学生 (実習生)

9月13日	9:30~ 11:30	人吉球磨成年後見センターの取組について 権利擁護事業と成年後見制度について	サンホテル人吉	市町村社会福祉協議会 新任職員
10月12日	11:00~ 11:30	人吉球磨成年後見センターの取組について 権利擁護事業と成年後見制度について	錦町下原 集落センター	錦町老人会 会員
11月12日	15:15~ 16:00	人吉球磨成年後見センターの取組について 権利擁護事業と成年後見制度について 人権と成年後見制度	山江村役場	人吉球磨地域 人権擁護委員
12月12日	9:30~ 11:30	人吉球磨成年後見センターの取組について 後見活動の実際 市民後見人の活動について	熊本県庁 防災センター	県・県社協主催 令和5年度法人 後見従事者・市民 後見人養成研修 受講者
3月6日	16:30~ 17:30	人吉球磨成年後見センターの取組について 後見活動の実際 市民後見人の活動について	Web研修	全国権利擁護 ネットワーク 九州沖縄ブロッ ク会員

○ 市民後見人定例会

日時	会場	出席者	内容
毎月第一木曜日10:00~	人吉市総合福祉センター小会議室	21名	活動報告・情報交換

○ 視察研修

視察日	時間	内容	視察場所	視察参加者
9月21日	13:30~ 16:00	中核機関つなご（小林市・えびの市・高原町）啓発イベント住み慣れた西諸で、すべての人が「自分らしく暮らすために」	小林市文化会館 大ホール	市民後見人（法人後見支援員）等
3月11日	13:30~ 15:30	中核機関つなご（小林市・えびの市・高原町）市民後見人セミナー「市民後見人って、何だろう？」視察	小林市社会福祉センター 別館2階大会議室	成年後見センター職員

○ 運営委員会（人吉市総合福祉センター）

回	日時	場所	議題
1	6月19日（月） 14:00~	中会議室	(1) 令和4年度事業報告及び決算報告について (2) 令和5年度事業計画及び予算について (3) 成年後見制度利用支援事業について
2	11月10日（金） 14:00~	中会議室	(1) 令和5年度上半期事業の進捗状況について (2) 令和5年度下半期の取組について (3) 成年6年度事業計画および予算について (4) 成年後見制度利用支援事業について

8 地域福祉権利擁護事業

本年度は、新規契約10件、解約・終了8件でした。相談や問い合わせについては、包括支援センターや居宅介護支援事業所、病院、相談支援事業所等の障害者相談支援機関、福祉事務所からがほとんどを占め、ご本人やご家族からの相談や問い合わせはほぼありませんでした。問い合わせ内容については、判断能力の低下が顕著であり、本事業の範疇を超えるもの多くありました。その際には成年後見制度の利用を勧め、中核機関に相談を行っています。

今後ご本人やご家族・地域住民からの相談が上がってくるように、地域コミュニティでの広報啓発に努めることで、早い段階で本事業を必要をしている方に介入していけるのではないかと考えています。

※契約数 (令和6年3月31日現在)

	認知症高齢者	知的障がい者	精神障がい者	その他	合計
支援者数 (人)	20	9	15	0	44

※生活支援員による支援回数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上半期
支援回数 (回)	113	143	155	134	158	127	830

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下半期	年間合計
支援回数 (回)	126	138	139	128	137	145	831	1,661

9 生活困窮者自立相談支援事業

令和5年度は、医療費や福祉サービス利用料支払いの問題、税の滞納や、債務、仕事、子育てなどの問題が絡みあって複雑化、多様化しているケースがあり、医療機関や施設、行政と連携しての支援が多くありました。また、そういった課題を抱える世帯にはキーパーソンが不在で介入が難しい場合が多い。

○実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規受付	14	7	7	11	6	13	8	11	8	6	7	15	113
支援決定（プラン）	6	2	3	3	4	6	2	4	2	0	3	4	39
終結	1	3	3	2	2	0	3	2	3	0	5	5	29
住居確保給付金 ※1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	2
家計改善支援事業 ※2	3	1	3	3	3	6	2	4	1	0	1	1	28
就労準備支援事業 ※3	1	0	1	1	0	3	0	1	0	0	1	1	9
自立相談支援事業による就労支援	3	0	2	0	2	2	0	1	0	0	1	1	12
就労自立促進事業 ※4	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	1	4
小口福祉資金	3	4	0	0	0	2	3	0	2	2	2	2	20
レスキュー事業 ※5	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	2

※1 一時的に家賃相当額を支給する事業。

※2 家計の収支状況を確認し、可視化して今後の見通しを示す事業。

※3 すぐに就労することが困難な人に対して、就労に向けた支援や機会の提供を行う事業。

※4 ハローワークの就労支援担当者と連携して就職活動を行う事業。

※5 就職や生活保護で収入があるまでの間、日常生活費（光熱費等含む）を提供する事業。

10 生活福祉資金貸付、生活福祉資金コロナ特例貸付債権管理

従来型の貸付（下記のア、イ）についての問い合わせはありますが、条件に合致しないため、申請には至りませんでした。令和5年度中に償還が完了した方が2名、償還免除になった方が1名おられました。

また、特例貸付の償還（下記のウ）が始まり、督促の通知や電話で償還を促しています。

借受人の中には非課税世帯、債務整理、生活保護受給開始、死亡などの理由で償還免除された方や、生活状況によっては、償還猶予されている方もおられます。

ア. 令和5年度貸付決定状況（単位：円）

資金区分	件数	金額
総合支援資金	0	0
福祉資金	0	0
教育支援資金	0	0
不動産担保型生活資金	0	0
臨時特例つなぎ資金	0	0
合計	0	0

イ. 償還状況

令和5年度末貸付件数	32件
償還免除	1件
償還完了	2件
令和5年度中償還あり	9件
令和5年度中償還なし	26件

令和5年度償還計画（A） 19,738,001円

令和5年度償還実績（B） 608,840円

差異（A-B） 19,129,161円

償還免除 185,195円

元金+貸付利子

元金+貸付利子

元金+貸付利子

元金+貸付利子

ウ. 令和5年度末コロナ特例貸付債権状況（単位：円）

資金区分	件数	金額
債権者	190	64,890,460
（償還実績）	86	1,273,200
償還免除者	183	57,514,920
償還猶予者	3	1,100,000

11 小口福祉資金貸付

令和5年度は、20件の貸付を行いました。そのうち5件は50,000円を超える貸付でした。昨年度要綱を改正し50,000円以上の貸付を可能としていましたが、生活費や就学費で希望があり協議をしたうえで貸付を行いました。償還額は下記の通りですが完済は17件ありました。年度末残は72件です。

令和5年度貸付（20件）	1,255,000円
令和5年度償還額	828,000円
令和5年度末未償還額	2,897,000円
督促状の発行 年3回（5月・8月・2月）	

12 社会福祉のつどい

市内の福祉関係者が一堂に会し、地域福祉の意義を再確認し、今後の福祉のまちづくりに向けて意識を高めるとともに、多年にわたり社会福祉事業に功績のあった方々に感謝の意を表するため、つどいを開催するものです。

内 容	開催日	令和6年2月22日（木）
	会 場	人吉カルチャーパレス小ホール
	表 彰	善行者2名 社会福祉協議会協助者52名
	活動報告	中原校区社会福祉協議会 会長 林美穂子氏 支え合い部会 部会長 釜場美代子氏 生活支援コーディネーター 迫みゆき氏
	基調講演	「支え・支えられる被災後の地域づくり活動」 日野ボランティア・ネットワーク 代表 山下弘彦氏
	参加者	町内会長・民生委員児童委員・くらし見守り相談員・校区社協 他200名

13 地域支え合いセンター

令和2年7月豪雨災害に伴い、被災者の自立再建に向けた支援を行う「人吉市地域支え合いセンター」を令和2年11月から人吉市から受託し運営を行っています。活動実績は次の通りです。

1 総合相談窓口・見守り活動・生活再建支援

建設型応急住宅、市営住宅を担当する仮設班と在宅及び賃貸型応急住宅を担当する在宅班の2つの班を構成し、2人一組で訪問活動を行いました。訪問対象世帯は、市が罹災証明を発行した全世帯。

市外賃貸型応急住宅・その他の世帯については、電話・文書・訪問にて支援を行いました。また、市広報誌や災害支援に関する情報等を郵送し連絡と現状把握に努めました。

訪問時には情報提供、支援物資の配布なども行い、活動の中で課題が見つかった世帯に対しては、関係機関へのつなぎや、必要に応じてケース検討会議を開き、関係機関と連携した支援を行いました。

	対象世帯数	支援対象世帯数	支援終了世帯	令和5年度支援実施回数(延べ)
建設型仮設住宅	115	110	5	6,220
みなし仮設	38	34	4	1,913
在宅	2,033	8	2,025	375
災害公営住宅	116	55	61	1,116
市営住宅	32	28	4	1,741
その他	943	19	924	841
合計	3,277	254	3,023	12,206

令和6年3月末日現在

建設型応急住宅において、あらゆる相談に対応するため、みんなの家に常駐し相談対応を行いました。相談来訪者がいない時間は、個別訪問を行いました。

名称：なんでも相談会

会場：仮設住宅10か所

時間：10時～12時

回数：各会場月1回 延べ120回

相談者：延べ183人（来所者のみ）

〈主な相談内容〉

- ・日常生活に係る様々な相談（ゴミ収集の問題、仮設住宅設備の故障、入居者同士のトラブル・人間関係、自身の健康問題、家族の介護等）
- ・災害公営住宅入居手続き、引っ越しに係る相談

2 コミュニティづくりのコーディネート

①建設型応急住宅等においては、入居者同士のコミュニティづくりのためのサロン活動（オープンカフェ）を開催しました。

名称：オープンカフェ
内容：自由参加の茶話会
会場：建設型応急住宅9か所、相良団地、東間コミセン
時間：10時～12時
回数：各会場月1回 延べ123回
参加者：延べ536人（仮設入居者409人、仮設外127人）

②建設型応急住宅においては、入居者同士のコミュニティづくりのための趣味の講座を開催し、自主サークル活動へ向けた支援を行いました。自主開催により回数を増やすなど仲間づくりと趣味を通じた健康づくりができました。

ア名称：編み物サークル
内容：自主開催
会場：石野公園仮設
回数：延べ27回
参加者数：延べ124人（仮設入居者42人、仮設外82人）

イ名称：陶芸愛好会
内容：自主開催
会場：西間第一仮設
回数：延べ16回
参加者数：延べ74人（仮設入居者32人、仮設外42人）

ウ名称：ラジオ体操
内容：4か所の仮設で自主開催となりました。自主開催への支援として6か所の仮設でオープンカフェ、なんでも相談会開催時に実施しました。
会場：建設型応急住宅10か所
回数：延べ687回
参加者数：延べ2,176人

エ名称：生け花教室
内容：自主開催に向けた支援を継続しています。
会場：村山公園仮設（12月で終了）・下原田第一仮設
回数：延べ21回
参加者数：延べ116人（仮設入居者78人、仮設外38人）

③支え合いセンター広報誌「スマイルだより」を7月から発行開始。支え合いセンターの活動の周知・イベント告知、ボランティア団体紹介、被災・再建された方の近況を掲載しました。

名称：スマイルだより

発行日：令和5年4、7、10月、令和6年1月

3 ボランティア団体との連絡調整

ボランティアの受け入れや支援物資の配布等について、ボランティア団体等との連絡調整を行いました。

○支援物資を団体から受け入れ、在宅、仮設と不公平のないよう配布しました。

主な内容：ランチ交流会、演芸披露、包丁研ぎ、漫才、年賀状配布、フラメンコ、足湯、傾聴、物資配布等

主なボランティア団体等：市ボランティア連絡協議会、CDSTおれんじぴーす等

ボランティア受入件数：延べ45件

ボランティア数：延べ219人

参加者数：延べ317人（仮設入居者276人、仮設外41人）

4 関係機関との連携

○行政や専門機関、自治組織等の関係団体との情報共有、意見交換の場として運営会議を開催しました。

会議名称：人吉市地域支え合いセンター運営会議

構成メンバー：県弁護士会、町内会長連合会、民生委員児童委員協議会、
くらし見守り相談員連絡協議会、住宅金融支援機構、
県防犯協会連合会、県健康福祉政策課、人吉保健所、県社協、
県支え合いセンター支援事務所、市住宅政策課、市福祉課、
市高齢者支援課、市保健センター、市被災者支援対策課、
地域包括支援センター

内容：人吉市地域支え合いセンターの活動報告、各関係機関の取組状況の共有、
課題やニーズの共有、意見交換

回数：計5回開催

○個別の支援困難ケースに対して各関係機関と状況共有及び助言をいただく場としてケース検討会議を開催しました。

会議名称：ケース検討会議

構成メンバー：県精神保健福祉センター、人吉保健所、市保健センター、
市福祉課、市被災者支援対策課、地域包括支援センター、
福祉事業所

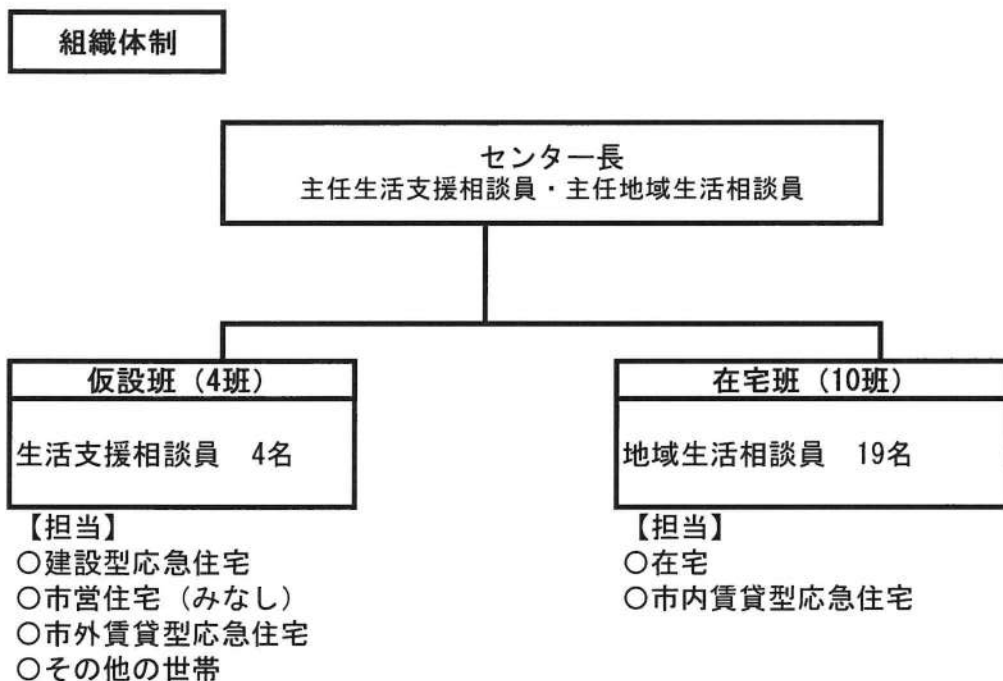
内容：事例検討

回数：7回

○定期報告会への出席

内容：県住まい対策室、市被災者支援対策課と支え合いセンター生活支援相談員と情報共有し、支援の方向性を確認しました。

回数：計10回



VI ボランティア活動及び福祉教育の推進

1 児童・生徒を対象にした「福祉教育」の推進

①令和5年度ボランティア協力校の状況

市内小・中・高等学校をボランティア協力校に指定。環境美化活動、リサイクル活動、募金活動などを実施し、地域の中に発信していくことにより、豊かな心や福祉の心の育成に取り組んでいただきました。

【人吉市社会福祉協議会ボランティア協力指定校（11校）】

人吉東小学校 人吉西小学校 東間小学校 大畑小学校 西瀬小学校 中原小学校
第一中学校 第二中学校 第三中学校
人吉高等学校 球磨工業高等学校

②福祉教育出前講座の実施

令和5年9月15日 大畑小学校	4年生 8名	①車いす体験 ②白杖歩行体験
令和5年9月25日 大畑小学校	4年生 8名	①手話の学習

③ボランティア体験事業 実績

・ボランティアスクール（対象児童：小学校6年生）

体験内容	<ul style="list-style-type: none"> ・「ふ」「く」「し」について ・白杖歩行体験、手話の学習、ブラインド卓球体験 ・段ボールベッド作り など 		
1	令和5年7月31日	19名(東・東間・大畑小)	会場：人吉市総合福祉センター
2	令和5年8月4日	19名(西・西瀬・中原小)	会場：人吉市総合福祉センター

・福祉の職場体験事業（対象者：中学生以上）

名称を「ボランティア体験行事」に変更し計画しましたが、台風のため中止しました。

・中高校生のための災害ボランティア講座（対象者：中学生以上）

体験内容	<ul style="list-style-type: none"> ・災害ボランティアについて ・避難所運営ゲームHUG、クロスロードゲーム ・ハイゼックス袋での炊飯体験 ・ロープワーク 		
	令和5年8月24日	20名	会場：人吉市総合福祉センター

2 ボランティアセンター登録状況

ボランティア団体登録数	48グループ	1,302名
個人ボランティア登録数		89名
ボランティアニーズ・相談数		4件
人吉市ボランティア連絡協議会	17グループ	197名

※ 第14回火の国ボランティアフェスティバル人吉球磨

毎年県内各ブロック持ち回りで開催されている「火の国ボランティアフェスティバル」が、14年ぶりに人吉球磨地区で次のとおり開催され、郡市のボラ連スタッフ、社協スタッフとともに実行委員会を組織し、企画・運営を行いました。

- ・期 日 令和5年11月25日（土）
- ・場 所 人吉スポーツパレス
- ・主 催 熊本県ボランティア連絡協議会
- ・大会テーマ「球磨川の流れが繋ぐ ボランティアの絆と復興への希望」
- ・参加者 約820人
- ・内 容 記念講演、ボランティア団体発表、アトラクション、展示発表など
- ・次回開催 阿蘇ブロック

3 災害救援ボランティア養成事業

災害救援ボランティア養成事業は、新型コロナウイルス感染症が収束の方向にあるため、今年度は計画にそって実施することができました。

以下のとおり、養成講座とフォローアップ研修を行いました。

令和5年6月10日（土）	○災害救援ボランティア養成講座 ・会 場 東西コミュニティーセンター ・参加者 44名 ・内 容 ①座学 災害ボランティアについて ②避難所運営ゲームHUG ③ロープワーク
令和6年2月14日（水）	○災害救援ボランティアフォローアップ研修 ・会 場 熊本県防災センター（県庁内） ・参加者 22名 ・内 容 ①センター施設視察 ②座学 防災リーダーの役割 ③展示物体験

4 球磨ブロック社協災害ボランティアセンター設置訓練

人吉市・球磨郡内の社会福祉協議会では、管内において災害が発生し、被災した地を有する市町村社会福祉協議会単独で災害救援活動が十分にできない場合を想定し、人吉市・球磨郡社協相互間の応援を円滑に行うため「災害時相互応援協定」を締結し、毎年訓練を実施しています。

本年度は、災害ボランティアセンター設置の訓練ではなく、ICT技術を活用した災害ボランティアセンター運営についての研修を2回行いました。

Ⅶ 在宅福祉サービス事業

1 デイサロン事業

介護予防や体力づくりに重点を置いた「あさデイ」と「デイサロン」を合わせて市内73会場で開催しました。例年どおり生活機能評価測定を行ない参加者へ結果をお伝えしました。

サロンの内容を統一したメニューで行ない、介護予防事業としての意識づけも行ないました。

外出の機会が減り他者との交流も減ったこと方への声かけ、気になる利用者の方は地域包括支援センターへつなぎ訪問等を実施しました。

年月	開催回数	利用者数	平均利用者数	介護予防教室内容
令和5年4月	69	673	9.75	介護予防体操 } 4月～3月まで ストレッチ、脳トレ等 } 毎月開催
5月	73	671	9.19	
6月	73	666	9.12	
7月	70	634	9.06	} 介護予防生活機能評価測定 (実施期間…6～11月)
8月	61	436	7.15	
9月	63	588	9.33	
10月	71	623	8.77	
11月	70	633	9.04	
12月	68	608	8.94	
令和6年1月	60	550	9.17	
2月	73	672	9.21	
3月	73	682	9.34	
合計	824	7,436	9.02	

2 地域包括支援センター

地域における高齢者の総合相談と包括的支援体制を確立し、高齢者が要介護状態になることの予防を推進するとともに、地域住民の心身の健康の保持及び生活の安定のため、包括的支援業務を行うことを目的としているセンターで、人吉市から委託を受けて運営しています。

職員体制は、保健師等、社会福祉士、主任ケアマネの3職種が6名、介護支援専門員3名、介護予防プランナー2名、事務職1名の計12名となっています。

①総合相談支援（延べ件数）

	電話	来所	訪問	合計
総合相談支援業務関係	3,285	919	2,439	6,643
介護や介護保険等福祉に関する相談	1,235	335	787	2,357
健康や病気など保健、医療に関する相談	1,008	281	888	2,177
歯に関する相談	9	3	14	26
認知症に関する相談	301	114	259	674
その他の相談	732	186	491	1,409
権利擁護業務関係	34	13	14	61
高齢者虐待に関する相談	12	1	2	15
権利擁護・成年後見に関する相談	20	11	9	40
消費者被害に関する相談	2	1	3	6
包括的・継続的ケアマネジメント業務関係	36	6	8	50
介護支援専門員の個別指導・相談	26	3	2	31
支援困難事例等への相談	10	3	6	19
合計	3,355	938	2,461	6,754

②介護予防給付業務及び介護予防ケアマネジメント業務（サービス計画書作成）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
事業対象者	75	74	80	82	78	75	74	74	74	73	72	72	903
要支援1	95	96	92	87	86	89	87	93	93	86	87	87	1,078
要支援2	76	76	76	74	74	76	81	78	83	90	96	94	974
合計	246	246	248	243	238	240	242	245	250	249	255	253	2,955

③認知症初期集中支援チーム員会議

複数の専門職が家族の訴え等により認知症が疑われる人や認知症の人及びその家族を訪問し、アセスメント、家族支援などの初期の支援を包括的、集中的に行い、自立生活のサポートを行うチームの会議を月1回開催しました。また、必要がある方に認知症サポート医との自宅訪問を行ないました。

④介護者家族会

在宅で介護されている親族等が集まり介護に関する情報交換や研修会等を月1回開催しました。今年度は会場をカルチャーパレス2階会議室で開催しました。

⑤介護支援専門員連絡会

2ヶ月に1回市内にある居宅介護支援事業所の介護支援専門員を対象に相互の情報交換やネットワークの構築、また、介護支援専門員の資質向上、制度や施策になどに関する情報提供を行う機会として実施しました。

今年度は6回開催し、見守りネットワーク、BCP策定動画視聴、認知症サポーター養成講座、薬剤師会と意見交換会、介護認定について確認、お口の健康教室について情報交換、研修を行いました。

⑥SOSキーホルダー事業

市内にお住いの高齢者の希望者にお渡ししている緑色のキーホルダーです。外出先での体調悪化や認知症の方の徘徊等されたときに、キーホルダーに記載された番号から本人の身元を確認し家族や関係者へつなぎます。今年度は登録内容の更新の書類を送付しました。

現在（令和6年3月末現在）の登録者は3,258人です。

3 居宅介護支援事業

利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	実利用者数
要介護1	38	37	39	39	38	40	40	42	45	46	46	47	121
要介護2	22	22	20	22	23	22	22	23	22	17	17	17	
要介護3	7	8	9	8	7	7	8	9	9	9	13	11	
要介護4	7	8	9	11	11	11	10	10	9	8	8	7	
要介護5	3	5	5	3	4	6	6	5	4	4	5	4	
合計	77	80	82	83	83	86	86	89	89	84	89	86	1,014

4 訪問介護事業

利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	実利用者数
事業対象者	8	8	8	9	9	9	9	8	9	6	6	5	119
要支援1	11	10	9	8	7	6	4	4	5	4	3	3	
要支援2	10	10	10	10	9	10	11	11	11	13	15	14	
要介護1	19	16	19	21	19	16	17	17	20	21	22	19	
要介護2	9	10	9	8	11	9	9	11	8	9	7	4	
要介護3	2	2	2	0	1	2	3	3	4	4	3	2	
要介護4	2	2	2	5	3	3	2	1	1	1	0	0	
要介護5	1	1	1	3	2	1	1	1	1	1	1	1	
利用者数（人）	62	59	60	64	61	56	56	56	59	59	57	48	697
保険外訪問	3	3	3	3	3	2	2	3	2	2	3	2	31
合計利用者数（人）	65	62	63	67	64	58	58	59	61	61	60	50	728

5 障害者総合支援法関係事業

居宅介護 利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	実利用者数
区分1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	1	1	1	27
区分2	7	7	7	7	6	6	6	8	8	8	8	8	
区分3	16	16	16	15	14	15	13	14	14	14	14	14	
区分4	1	1	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2	
区分5	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
区分6	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
利用者数（人）	27	27	27	26	23	24	23	26	26	27	27	27	310

移動支援 利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	実利用者数
利用者数（人）	8	8	7	7	5	7	7	6	6	7	6	6	8

Ⅳ 共同募金

1 令和5年度赤い羽根共同募金実績報告

今年度も募金目標額を900万円に設定して活動しました。目標額には達しませんでした。達成率では、昨年度比で9.5%上昇しました。町内会長をはじめ、各種関係団体や民間事業所、行政機関等の協力を得て募金活動に取り組むことができたこと、また、4年ぶりに歳末たすけあい演芸会が開催できたこと、おくんち祭りの街頭募金などの活動ができたことにより、前年度を上回る募金額となりました。

また、新たな取り組みとして企画した人吉市社会福祉事業団とのコラボによる「きじ坊」や、市内の観光施設や主要売店等へのバッジ等の設置も好評を博しております。

一方、助成については、申請があった14団体及びボランティア協力校10校に対し、審査委員会の審査を経て助成しました。事業の詳細は以下のとおりです。

県目標額A	1,710,000円	目標額B	7,290,000円
合計目標額	9,000,000円		
実績額	7,925,715円		

赤い羽根共同募金で集まったお金

単位：円

募金種別	募金額	内 容
戸別募金	1,863,283	町内会を通じ、各戸から
歳末袋募金	2,444,561	町内会を通じ、各戸から
イベント募金	676,494	演芸会、中原校区社協福祉まつり
街頭募金	102,263	おくんち祭り
法人募金	797,713	市内の法人
職域募金	1,320,705	官公庁・企業の職員の方々
学校募金	79,789	各学校
自動販売機	378,658	総合福祉センター、市役所別館、弓道場前駐車場 あやめ公園、石野公園、仮設住宅
大口募金	94,133	個人等
その他	168,116	バッジ等寄付、利息
合計	7,925,715	

※県共同募金会へ当年度募金額の全額を送金し、翌年度に配分される仕組み

令和4年度共同募金活動による令和5年度配分実績内訳

令和5年度配分金額 5,339,128円

繰越金額 4,744,932円

合計 10,084,060円

赤い羽根共同募金で使ったお金

単位：円

区 別	配 分 額	内 訳
高齢者福祉	78,018	給食ボランティア事業助成金・保険
	343,663	ミニサロン事業助成金・参加者保険
	268,000	小地域ネットワーク助成金
	70,900	馬蹄型歩行器、車いすパンク修理等
	400,000	老人クラブ（シルバーヘルパー事業）助成金
障害児・者福祉	126,870	福祉4団体助成金・手数料
児童・青少年	172,653	ボランティアスクール、災害ボランティア養成講座
	354,462	ボランティア協力校活動助成金
	250,540	福祉2団体助成金
福祉育成	1,043,400	社協だより発行・ホームページ利用料
	290,000	校区社協だより助成金
	346,292	表彰関係
	122,000	福祉2団体助成金
	132,000	交通安全旗
	95,700	共同募金の仕組みと使い道パンフレット
72,374	切手・メール便・振込手数料	
歳末見舞金	809,368	歳末たすけあい見舞金配分事業
合計	4,976,240	

令和5年度配分金（繰越金含む） 10,084,060円-4,976,240円=5,107,820円（次年度へ繰越）

2 歳末たすけあい運動

本年度は4年ぶりに「歳末たすけあい演芸会」を開催することができました。

各町内会を通して歳末の袋募金を行いました。募金を原資とした配分事業では、寝たきりの高齢者や認知症高齢者を介護されている世帯や生活困窮世帯、生活困りごとの相談が多かった「生活困窮ひとり親等世帯」の児童数に応じた現金を配分しました。

第56回歳末たすけあい演芸会

- ・期 日 令和5年12月3日（日） 午前午後2回公演
- ・会 場 人吉カルチャーパレス 小ホール
- ・主 催 人吉市社会福祉協議会・人吉市共同募金委員会
- ・演 目 吟詠・日本舞踊・三味線・郷土芸能・ダンス・歌謡曲等
- ・出演者数 午前 136名 午後 122名 延出演者数 258名
- ・係員数 午前午後 延べ 135名
- ・入場者数 午前の部 331名 午後の部 352名 合計 683名
- ・チケット販売数 903枚（1枚1,000円）
- ・収益金 599,165円（人吉市共同募金委員会へ）
- ・当日共同募金箱 59,479円

歳末たすけあい見舞い金品配分実績

項 目		金額	件数	合計金額
生活困窮世帯	1人	10,000円 ×	2件	20,000円
	2人	12,000円 ×	1件	12,000円
	3人	14,000円 ×	2件	28,000円
	小計		5件	60,000円
生活困窮 ひとり親等児童扶養世帯	1人	5,000円 ×	5件	25,000円
	2人	7,000円 ×	3件	21,000円
	3人	9,000円 ×	6件	54,000円
	小計		14件	100,000円
寝たきり高齢者介護世帯		12,000円 ×	28件	336,000円
認知症高齢者介護世帯		12,000円 ×	26件	312,000円
	合計		73件	808,000円

Ⅸ その他の事業

1 人吉市総合福祉センター利用状況

社会福祉協議会をはじめ公共機関及び各種団体等の年間利用総数は631回となり、収入総額は191,147円でした。

(単位：円)

区分	使用回数	利用料	減免額	納入額
社	449	1,138,907	1,138,907	0
協	19	51,909	49,830	2,079
協	7	26,620	26,070	550
団	73	258,874	237,930	20,944
体	0	0	0	0
体	0	0	0	0
体	25	64,625	57,640	6,985
体	0	0	0	0
体	14	36,025	32,120	3,905
体	5	19,415	16,170	3,245
体	8	23,859	19,162	4,697
福祉関係団体等	5	15,785	13,200	2,585
公共機関等(市内)	22	104,885	0	104,885
公共機関等(市外)	4	41,272	0	41,272
合計	631	1,782,176	1,591,029	191,147

2 介護用機器等の貸出

社協では、短期間での利用及び経済的理由での車椅子やベッドなどの7種類の介護機器等を最長3ヶ月間無料で貸出しました。本年度の延べ貸出件数は153件となっております。

介護用機器等	件数	介護用機器等	件数
1 車イス	75件	5 歩行器	3件
2 ベッド	2件	6 押し車	4件
3 ポータブルトイレ	20件	7 チャイルドシート・ジュニアシート	32件
4 シャワーチェア	12件	8 松葉杖・杖・浴槽台	5件
合計(延べ件数)			153件

3 善意銀行

生活困窮者自立相談支援事業と連携し、生活困窮者支援のため預託金から食料品を購入しました。

預託金品等	件数	内訳
寄附金	4件	53,660円
物品	49件	・扇風機 ・電子レンジ ・炊飯器 ・エアコン一式 ・紙オムツ ・尿取りパット ・洗剤 ・口腔ケア用品 ・おしりふき・からだふき・押し車 ・掃除機 ・衣類・下着・布団・毛布・電気毛布・洗濯機・空気清浄機 ・食料品 ・タオル ・冷蔵庫 ・米 ・シャワーチェア ・自転車
計	53件	
払出金品等	件数	内訳
払出金	2件	フードバンク食品代 19,106円
物品	175件	・食料品・洗濯機・掃除機・扇風機 ・炊飯器・布団・冷蔵庫・電子レンジ・シャワーチェア
計	177件	

4 各種団体の事務局

①人吉市民生委員児童委員協議会

理事会（各単位民児協会長、副会長、主任児童委員代表）毎月1回
各単位民児協例会（4校区）毎月1回
各単位民児協宿泊研修（4校区）同行
各種研修準備・同行

②人吉市くらし見守り相談員連絡協議会

※詳細はⅤ（地域福祉事業の推進）の5に記載。会議、研修会等の支援

③人吉市校区社協連絡協議会

※詳細はⅣ（校区社協活動）に記載。会議、研修会等の支援

④熊本県共同募金会人吉市共同募金委員会

共同募金委員会の開催（年2回）
共同募金審査委員会の開催（年2回）

⑤人吉市ボランティア連絡協議会

総会、研修会の準備。五役会、役員会等への参加

⑥人吉市災害救援ボランティアやませみ

総会、研修会の準備。役員会等への参加

X 資料

1 会費の実績

（単位：円）

会費の種類	令和4年度		令和5年度			
	件数	金額	件数	金額		
普通会費	1戸	200円	11,586	2,317,200	11,622	2,324,400
賛助会費	1口	1,000円	4,498	4,637,000	4,560	4,609,000
特別会費	1人	10,000円	112	1,120,000	111	1,110,000
合計			16,196	8,074,200	16,293	8,043,400

2 寄附・香典返し

（単位：円）

	令和4年度		令和5年度	
	件数	金額	件数	金額
一般寄付金	37件	5,072,905	59件	687,503
香典返し寄付金	208件	4,439,000	223件	4,374,000
合計	245件	9,511,905	282件	5,061,503

3 団体等の受入

	年月日	訪問団体（個人）名	内容	人数
1	令和5年7月12日	天草市牛深地区民児協	災害時の民生委員の活動について	30
2	令和5年7月19日	宮崎県小林市民児協	災害時の民生委員の活動について	26
3	令和5年9月26日	宮崎県宮崎市大淀地区民児協	災害時の民生委員の活動について	21
4	令和5年9月28日	鹿児島県指宿市民児協役員	災害時の民生委員の活動について	8
5	令和5年9月29日	宮崎県西都市民児協	災害時の民生委員の活動について	55
6	令和5年10月19日	福岡県大川市民児協	災害時の民生委員の活動について	19
7	令和5年10月23日	宮崎県日南市吾田地区民児協	災害時の民生委員の活動について	25
8	令和5年11月2日	天草市倉岳地区民児協	災害時の民生委員の活動について	16
9	令和5年11月7日	玉名市第2民児協	災害時の民生委員の活動について	20
10	令和5年11月8日	水俣市民児協	災害時の民生委員の活動について	27
11	令和5年12月7日	宇土市民児協	災害時の民生委員の活動について	21

4 実習生の受入

	期間	日数	学校等	人数	実習の内容
1	8/7~9/14 (200時間)	26	鹿児島国際大学 福祉社会学部 3年生	1	ソーシャルワーク実習